



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成29年9月8日発行 No.20

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



「すごくさわやかな気持ちになりました。」

本校では、共に学び合って高め合うような教育力のある集団づくりに力を入れています。タイトルの言葉は、7日(木)に、自己肯定感・他者肯定感を高める授業実施後の5年生Hくんの感想です。その他に、以下の感想がありました。

- 友達にいいところを見つけてもらって、「自分て、スゴイのか！」と思いました。(自信、自己肯定感の高まり)
- 友達がほくのいいところを見つけてくれてとてもうれしかった。これからも、友達のいいところ、自分のいいところを見つけていきたいです。(友達と係わりたい意欲、自分をもっと高めたい気持ち)
- 友達のいいところを一日一日、見つけて生活するようにしたい。自分も、もっともっといろいろなことをしていきたい。(自治的な学級にしていくための態度の形成)



「Hさんのいいところは、ここの、○□△のところです。」(T)



子ども達は、友達のいいところを伝え合いながら、とてもよい表情で(左写真)活動し、自己肯定感や他者肯定感を高めていました。

また、「もっとよい自分に高めたい。」「友達のいいところを見つけていきたい。」など、共に高め合う学級集団として必要な資質を高めていました。

このような授業を全学級で行い、学び合い高め合う塩川小学校にしていきたいと思います。

教育力を持った学級集団づくり ～QUテストを生かして～

子ども、学級に、意図的計画的に働きかけなければ、教育力を持った学級集団は育ちません。その育成のポイントは、2つあります。

1つは、人間関係づくりです。いがみ合うような関係ではなく、お互いのよさを知り、積極的にかかわり合う中で共に高め合う関係でなければなりません。そのためには、先の授業のような、自他のよさを知り、伝え合う活動を工夫することが大切です。

2つ目は、集団生活のルールを徹底して守る子どもに育てることです。友達にいやな思いをさせない。係活動など、学級の利益になることはしっかり行うなど、社会性を高めることが大切です。

先生方は、上記授業の後、県教育センターの先生を講師に、上の2つのポイントについて研修を深めました。



「Hさんのいいところは、ここの、○□△のところです。」(T)

ちょっといい話

着衣泳を行いました。



6年生は、ボランティアで毎朝、正面玄関の掃除をしてくれています。

WさんとAさんが、傘立ての整理をしていたので聞いてみると、「やったほうがいいのかと思ったから。」と答えました。

自主的主体的な行動に感心させられました。

8日(金)、今年度の水泳学習が、事故なく終了しました。

水泳学習の最後に着衣泳を行い、水の怖さを知るとともに、命の守り方を学習しました。



2017/09/09